

2021 年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画と評価

課題	始業前情報収集や終業後の看護記録入力による超過勤務削減の定着化
現状	2020 年度に病棟にノート PC6 台増台、らくらくスマホ 22 台を新規導入した。またタイムカード導入により、勤務時間の把握が可能になり、始業前の情報収集や終業後の看護記録などの超過勤務を削減した。具体的には病棟看護師の月平均超過勤務時間は 6.1 時間であり、看護部全体では 5.1 時間であった。今後も取り組みを継続することで習慣化し、超過勤務削減の定着化を図る必要がある。
指標	看護職員の超過勤務削減の定着化を図る
計画	<ol style="list-style-type: none"> ノート PC 及びらくらくスマホ活用(動線の短縮) <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドサイドでの情報収集、実施前確認、実施入力の習慣化 始業前の情報収集および終業後の記録入力はスタッフステーションで実施しない(他職種や患者・家族が勤務者と誤認しないため) <ul style="list-style-type: none"> ・日勤者は 8:15 以前、17:00 以降はカンファレンスルームや休憩室で PC 使用 ・準夜者は 16:15 以前、深夜者は 9:00 以降カンファレンスルームや休憩室で PC 使用 ・看護師長は始業前残業者、終業後残業者の労働環境を確認し、指導する リーダー看護師の定位置(デスク)を決め、医師など他職種が声をかけやすくする
水準 指標要件	<ol style="list-style-type: none"> 看護部全体の月平均超過勤務が 6 時間以内を維持する 始業前 15 分以前、終業後 15 分以降の残務はスタッフステーション以外の場所で行うことを習慣化する
評価	<ol style="list-style-type: none"> 看護部の月平均超過勤務 病棟看護師の時間外労働は月平均 3.3 時間(前年 6.1 時間)、看護部全体は 3.2 時間(前年 5.1 時間)と非常に短縮した。看護職員の負担軽減を図ることができた。 タイムカードによる時間管理を行い、責任者は出勤時間・退勤時間を確認している。 精神的安定のために 15 分前に出勤する特定の看護師が少数いるが、休憩室やカンファレンスルームなどで情報収集を行い、他者から声をかけられないように工夫をしている。就活の看護学生の質問に対し、ラダー I の看護師たちは「早く来なくてよいと上席者に指導してもらえる」と説明し、良い印象を持たれている。

以上